

GTIN設定ガイドライン(GTIN Management Standard)

- 世界の製配販企業が議論をし策定
- 主に
 - GTIN設定の原則
 - 更に具体的にGTINの変更が必要な10の原則を記載
- 無料で公開(<https://www.gs1.org/1/gtinrules//en/>)
- GS1Japanでも日本語版を作成・公開(https://www.gs1jp.org/standard/identify/gtin/gtin_guide.html)



だれがGTINを設定するか

原則

- GTINはその商品のブランドオーナーが設定する。
- ブランドオーナーとは、その商品の仕様について責任を持っている事業者のこと。



株式会社GS1食品
GS1事業者コード: 4512345



GTIN:
4512345002671

GTIN変更原則

GTINを変更する場合は、必ず下記に少なくとも1つ以上当てはまる必要があります。



消費者や取引相手は、変更した／新しい商品を、以前／現在の商品と区別したいと考えるか。



消費者や取引相手に対する規制／責任開示要件があるか。



サプライチェーン(商品の出荷、保管、受領方法など)に影響がある重要な変更があるか？

さらに、**GTIN**が変更になる具体的な内容が「**10の基準**」としてまとめられてる

新しいGTINの設定が必要になる10の基準

内容	単品、 最小取引単位	集合包装
【基準1】新商品を発売した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準2】商品表示の変更をともなう成分や機能を変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準3】商品表示の変更をともなう正味内容量を変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準4】包装の外寸、または総重量の変更程度が20%を超える場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準5】認証マークを追加、または削除した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準6】ブランドを変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準7】販促のために期間限定で包装を変更、または景品・試供品を付けた場合	変更なし	新しいGTIN
【基準8】集合包装の入数を変更した場合	変更なし	新しいGTIN
【基準9】あらかじめ決められた組み合わせ商品の中身を変更した場合	新しいGTIN	新しいGTIN
【基準10】商品本体に直接表示された価格の追加、変更、削除を行う場合	新しいGTIN	新しいGTIN